



2022年度 第2四半期 決算補足説明資料

2022年10月31日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>）

目次

I. 2022年度 第2四半期 決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 4
3. 営業外・特別損益の状況	P. 15
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 16
5. キャッシュ・フローの状況	P. 17
II. 2022年度 通期業績予想	P. 18
1. 業績予想策定の前提条件	P. 19
2. 業績ハイライト	P. 20
3. セグメント別の状況	P. 21

I. 2022年度 第2四半期 決算概要

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2022/2Q 実績 (A)	2021/2Q 実績 (B)	対2021/2Q実績		2022/2Q 期初予想 (2022年4月公表) (C)	対2022/2Q期初予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営業収益	108,240	91,614	16,626	18.1%	110,200	△ 1,959	△ 1.8%
営業利益	9,446	3,797	5,649	148.8%	7,800	1,646	21.1%
営業外収益	854	934	△ 79	△ 8.5%			
営業外費用	2,085	2,213	△ 128	△ 5.8%			
経常利益	8,215	2,518	5,697	226.2%	6,300	1,915	30.4%
特別利益	390	23,593	△ 23,202	△ 98.3%			
特別損失	593	23,748	△ 23,154	△ 97.5%			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,116	1,587	5,529	348.4%	4,900	2,216	45.2%

<主な増減理由:対2021/2Q実績>

運輸業における輸送人員の増加や、不動産業におけるマンション販売の増加等により増収増益

<主な増減理由:対2022/2Q期初予想>

新型コロナウイルス感染再拡大の影響や、建設業における完成工事高の減少により減収となった一方、費用の節減や建設業において利益率が改善したこと等により増益

2. セグメントの構成状況（2022年9月末現在）

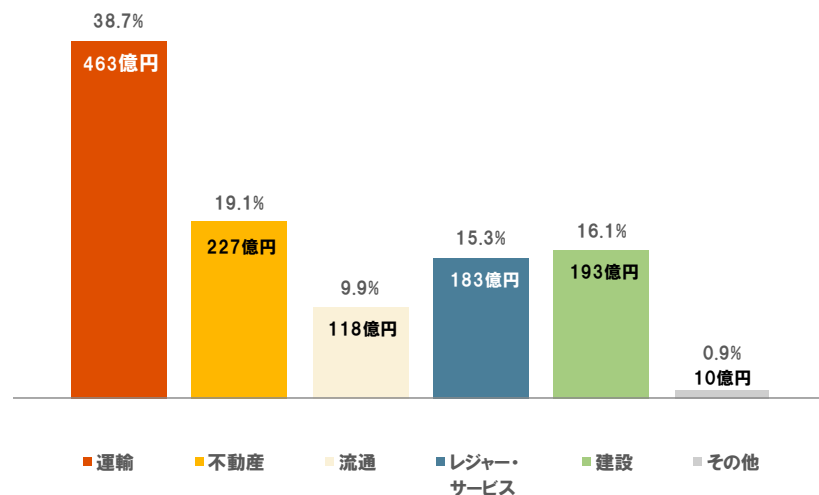
【連結子会社53社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

増減(対 2022年3月末) 連結子会社の増加 1社(会社分割) : 南海システムソリューションズ株式会社
 連結子会社の減少 2社(グループ内合併) : 南海ウイングバス金岡株式会社、ライフコミュニティ株式会社
 非連結子会社の増加 1社(新規設立) : eスタジアム株式会社

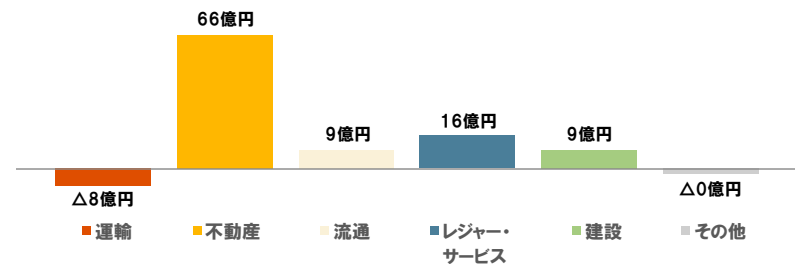


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

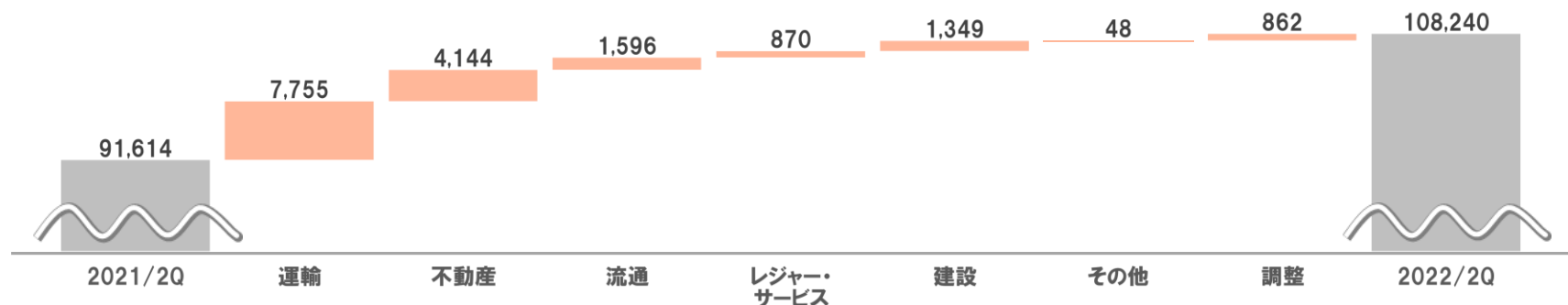


※ 構成比:セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

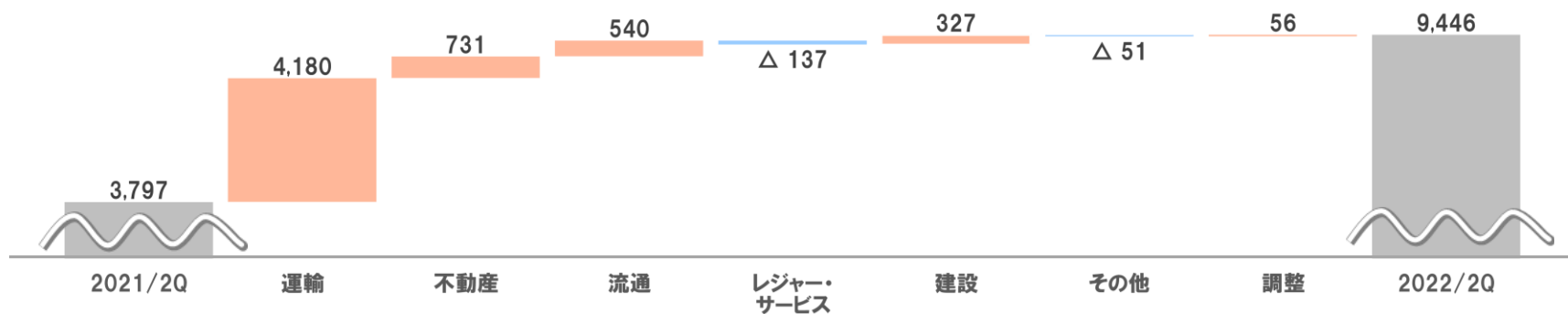
2. セグメント別営業収益・営業利益

① 営業収益の増減額（対2021/2Q比較）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2021/2Q比較）



2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益			
	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
運 輸 業	46,335	38,580	7,755	20.1%	△ 885	△ 5,065	4,180	—
不 動 産 業	22,794	18,650	4,144	22.2%	6,657	5,926	731	12.3%
流 通 業	11,824	10,228	1,596	15.6%	925	384	540	140.6%
レジャー・ サービス業	18,312	17,442	870	5.0%	1,624	1,762	△ 137	△ 7.8%
建 設 業	19,319	17,970	1,349	7.5%	980	652	327	50.3%
その他の事業	1,080	1,032	48	4.7%	△ 49	2	△ 51	—
調 整 額	△ 11,427	△ 12,290	—	—	192	136	—	—
合 計	108,240	91,614	16,626	18.1%	9,446	3,797	5,649	148.8%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	46,335	38,580	7,755	20.1%
鉄道事業	26,500	22,908	3,592	15.7%
バス事業	8,982	7,719	1,262	16.4%
その他の運輸業	13,870	10,915	2,955	27.1%
調整額(セグメント内)	△ 3,018	△ 2,963	—	—
営業利益	△ 885	△ 5,065	4,180	—
主な内訳				
鉄道事業	△ 400	△ 3,326	2,926	—
バス事業	△ 790	△ 1,601	810	—

<主な増減理由>

・鉄道事業やバス事業において前年同期と比べ輸送人員が増加したことや貨物運送業における増収等により増収、損益改善

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線			2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	12,339	9,231	3,108	33.7%
	定期		9,572	9,299	273	2.9%
	合	計	21,912	18,530	3,381	18.2%
輸送人員	定期	外	38,331	29,983	8,348	27.8%
	定期		61,958	58,970	2,988	5.1%
	合	計	100,289	88,953	11,336	12.7%

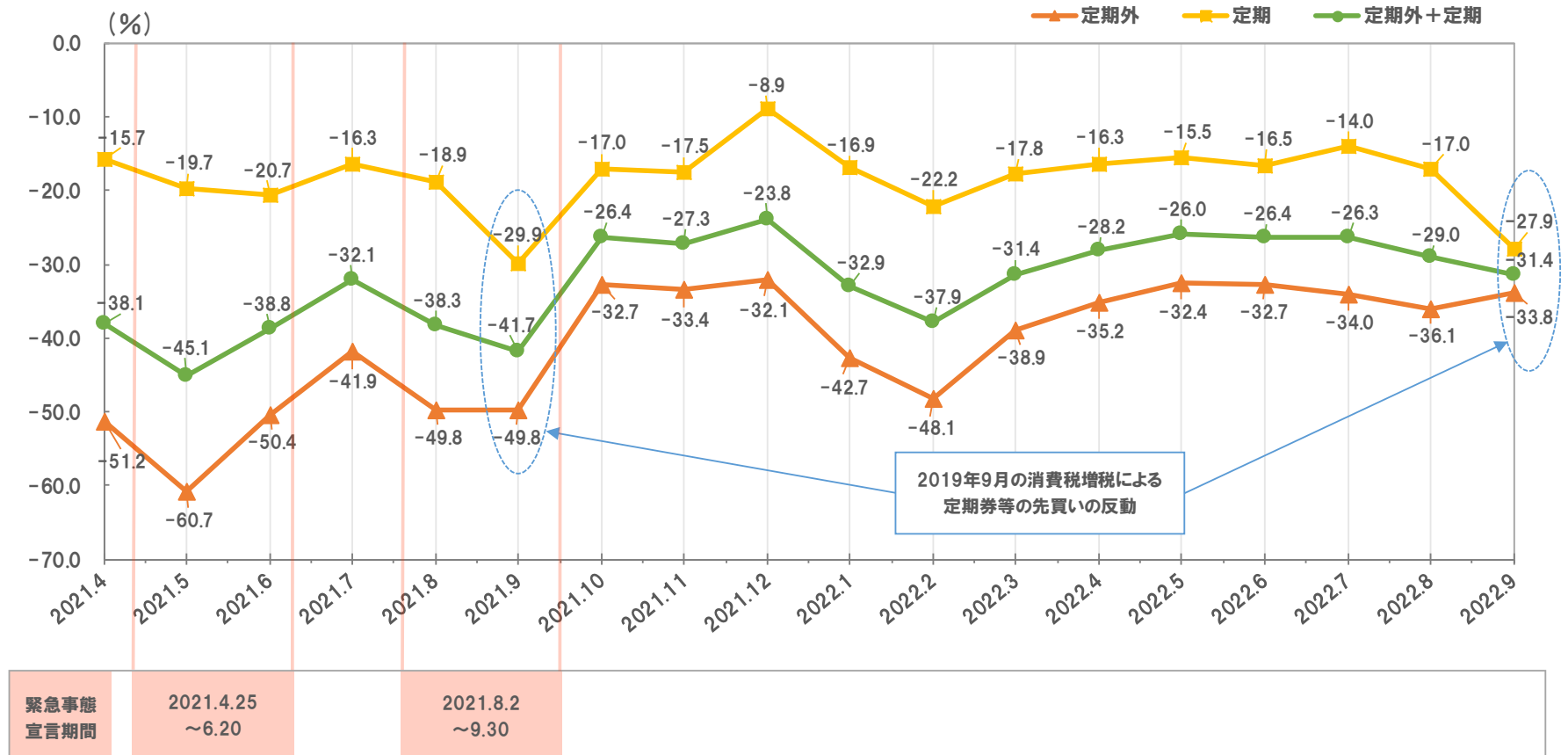
(単位:百万円・千人)

空港線			2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	1,604	933	670	71.8%
	定期		421	385	36	9.5%
	合	計	2,025	1,318	707	53.6%
輸送人員	定期	外	2,230	1,381	849	61.5%
	定期		1,443	1,300	143	11.0%
	合	計	3,673	2,681	992	37.0%

‘なんかいいね’があふれてる

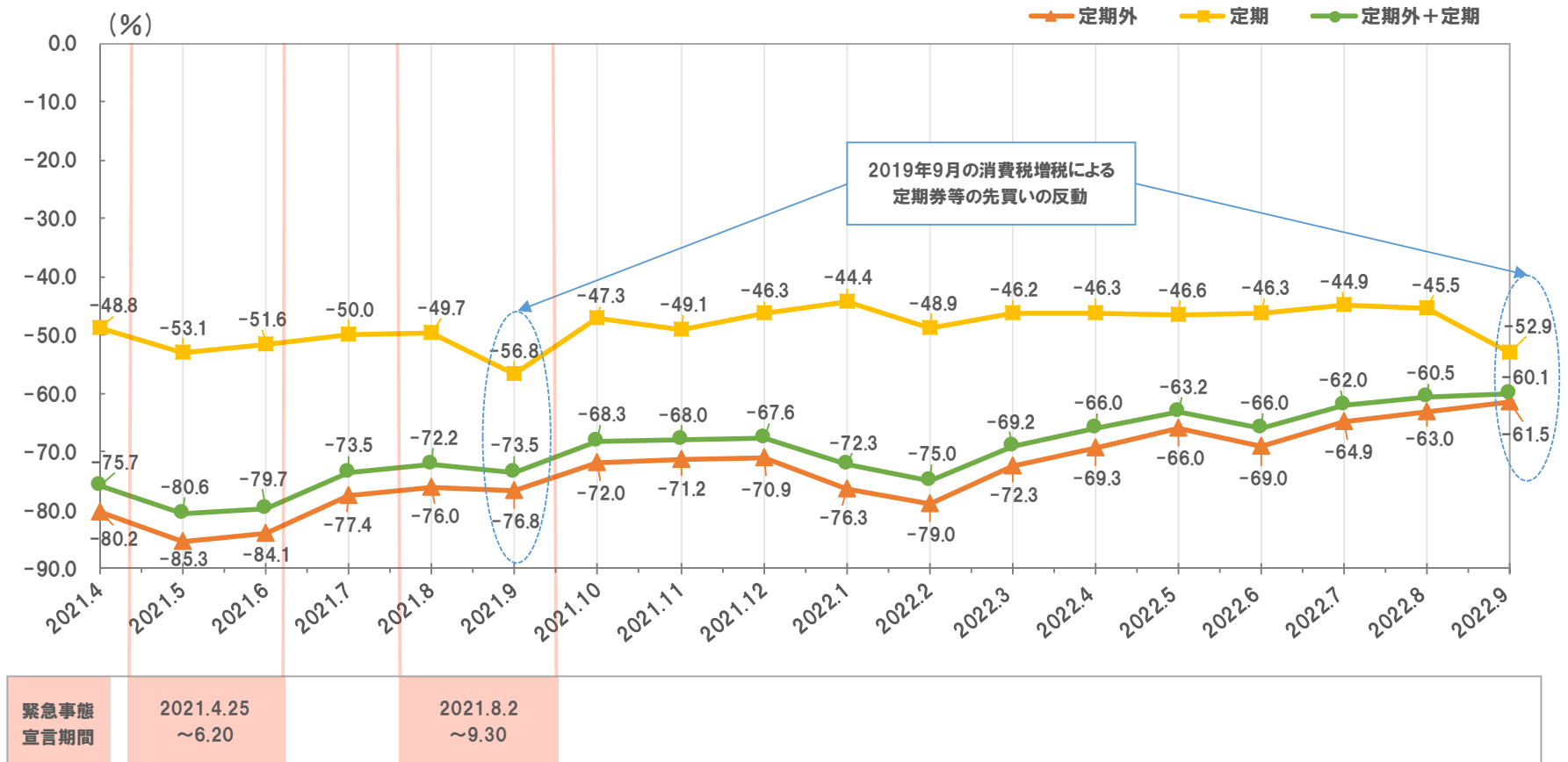
2. セグメント情報(運輸業)

【参考1】(個別-全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



2. セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	22,794	18,650	4,144	22.2%
不動産賃貸業	16,782	16,149	633	3.9%
不動産販売業	6,166	2,706	3,459	127.8%
調整額(セグメント内)	△ 154	△ 205	—	—
営業利益	6,657	5,926	731	12.3%
主な内訳				
不動産賃貸業	6,185	5,984	201	3.4%
不動産販売業	549	21	527	—

<主な増減理由>

- ・不動産賃貸業は、前年同期における緊急事態宣言発出の反動によるホテル賃貸料収入の増加等により増収増益
- ・不動産販売業は、マンション販売の増加等により増収増益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	11,824	10,228	1,596	15.6%
ショッピングセンターの経営	6,788	5,494	1,293	23.5%
駅ビジネス事業	5,661	5,231	430	8.2%
その他の流通業	260	315	△ 54	△ 17.4%
調整額(セグメント内)	△ 886	△ 813	—	—
営業利益	925	384	540	140.6%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	482	171	310	181.2%
駅ビジネス事業	488	243	245	100.8%

<主な増減理由>

・ショッピングセンターの経営において、前年同期に緊急事態宣言の発出に伴い商業施設(なんばパークス、なんばCITY等)を臨時休館したことの反動等により増収増益

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	18,312	17,442	870	5.0%
ビル管理メンテナンス業	10,504	10,675	△ 170	△ 1.6%
その他のレジャー・サービス業	8,739	7,683	1,056	13.7%
調整額(セグメント内)	△ 931	△ 915	—	—
営業利益	1,624	1,762	△ 137	△ 7.8%
主な内訳 ビル管理メンテナンス業	300	513	△ 213	△ 41.5%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、ビルメンテナンス収入の減少等により減収減益
- ・その他のレジャー・サービス業は、旅行業やポートレース施設賃貸業において新型コロナウイルス感染症の影響が前年同期と比べ縮小したこと等により増収増益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	19,319	17,970	1,349	7.5%
建設業	19,320	17,980	1,340	7.5%
調整額(セグメント内)	△ 0	△ 10	—	—
営業利益	980	652	327	50.3%

<主な増減理由> 完成工事高の増加等により増収、利益率の改善等もあり増益

(単位:百万円)

その他の事業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	1,080	1,032	48	4.7%
その他の事業	1,092	1,036	56	5.4%
調整額(セグメント内)	△ 12	△ 4	—	—
営業利益	△ 49	2	△ 51	—

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収、利益率の低下等により減益

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	摘要
営業外収益	854	934	△ 79	
受取利息	13	12	1	
受取配当金	524	397	126	
雑収入	316	524	△ 207	
営業外費用	2,085	2,213	△ 128	
支払利息	1,798	1,958	△ 160	
雑支出	286	254	32	
特別利益	390	23,593	△ 23,202	
補助金	195	84	110	
工事負担金等受入額	178	22,741	△ 22,562	前期:高石市内連続立体交差化工事(上り線)他
その他	16	767	△ 750	前期:大規模施設等協力金 他
特別損失	593	23,748	△ 23,154	
関係会社整理損	197	—	197	
工事負担金等圧縮額	158	22,737	△ 22,579	前期:高石市内連続立体交差化工事(上り線)他
その他	237	1,010	△ 772	前期:商業施設臨時休館期間にかかる固定費 他

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2022/2Q末	2021年度末	増減額	主な増減理由
流動資産	79,337	85,147	△ 5,809	●流動資産 ・現金及び預金の減少 △48億円
固定資産	835,022	835,829	△ 807	●固定資産 ・減価償却に伴う建物及び構築物の減少 △79億円 ・投資有価証券の減少 △ 9億円 ・建設仮勘定の増加 +90億円
資産合計	914,359	920,976	△ 6,617	●負債 ・支払手形及び買掛金の減少 △35億円
負債合計	650,372	660,260	△ 9,888	【有利子負債残高】 (単位:億円)
純資産	263,987	260,716	3,271	●純資産 ・親会社株主に帰属する四半期純利益 +71億円 ・剰余金の配当 △28億円 ・その他有価証券評価差額金の減少 △ 7億円
負債純資産合計	914,359	920,976	△ 6,617	

	2022/2Q末	2021年度末	増減額
有利子負債	4,776	4,824	△ 48
純有利子負債	4,460	4,460	0

5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	15,371	13,524	1,846	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前四半期純利益 + 56億円 ・仕入債務の増減 + 35億円 ・棚卸資産の増減 + 21億円 ・売上債権の増減 △ 62億円 ・法人税等の支払額又は還付額 △ 23億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 11,852	△ 5,835	△ 6,017	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産の取得による支出 △ 68億円 ・工事負担金等受入による収入 + 11億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 7,909	△ 17,322	9,412	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー ・有利子負債増減額 + 95億円 ○当期 借入金 △118億円 コマーシャル・ペーパー + 70億円 ○前期 借入金 △144億円
現金及び現金 同等物の期末残高	31,710	31,284	425	

II. 2022年度 通期業績予想

1. 業績予想策定の前提条件

●修正予想における収入は、以下の前提に基づいて算定

【当社鉄道線】 コロナ影響を控除した平年ベースからの減少率

	2022年度			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 修正予想	4Q 修正予想
定期外(既設線)	△ 22%	△ 25%	△ 17%	△ 13%
	(△ 15%)		(△ 15%)	
定期外(空港線)	△ 68%	△ 63%	△ 45%	△ 35%
	(△ 70%)		(△ 50%)	
定期(既設線)	△ 14%	△ 18%	△ 10%	△ 10%
	(△ 10%)		(△ 10%)	
定期(空港線)	△ 46%	△ 48%	△ 30%	△ 20%
	(△ 30%)		(△ 20%)	

※ 下段()は期初予想(2022年4月公表)

2. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2022年度			主な増減要因	2021年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
	修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
営業収益	227,300	227,100	200	<ul style="list-style-type: none"> ●営業収益 貨物運送業において増収の一方、 レジャー・サービス業の減収もあり 期初予想並みと見込む ●営業利益 費用節減に伴う収支改善もあり増益 ●親会社株主に帰属する当期純利益 経常増益及び税金費用の減少に伴う 増益 ●投資額 投資時期の見直し等による減少 ●有利子負債残高 投資額の減少等に伴い減少 	201,793	25,506
営業利益	17,000	16,300	700		12,190	4,809
経常利益	14,400	13,200	1,200		9,931	4,468
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,100	7,800	2,300		4,021	6,078
投資額	42,800	47,700	△ 4,900		21,408	21,391
減価償却費	27,800	28,400	△ 600		28,591	△ 791
E B I T D A ※	45,700	45,400	300		41,568	4,131
有利子負債残高	479,700	482,600	△ 2,900		482,487	△ 2,787
純有利子負債残高	455,500	458,900	△ 3,400		446,017	9,482
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	10.5倍	10.6倍	△ 0.1pt		11.6倍	△ 1.1pt
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	10.0倍	10.1倍	△ 0.1pt	10.7倍	△ 0.7pt	

‘なんかいね’があふれてる



※ 営業利益 + 受取配当金 + 減価償却費

3. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度			主な増減要因	2021年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
運 輸 業	営業収益	96,800	95,800	1,000	・貨物運送業+18億円 輸送運賃高騰 ・鉄道事業△10億円 既設線△12億円、空港線+5億円	83,371	13,428
	営業利益	200	△ 300	500	・バス事業+5億円 人件費の減 貸切収入減による燃料使用数量の減	△ 7,382	7,582
不 動 産 業	営業収益	44,600	44,000	600	・不動産賃貸業+4億円 水光熱収入の増 ・不動産販売業+2億円	45,598	△ 998
	営業利益	11,100	10,900	200	・不動産賃貸業+2億円	12,577	△ 1,477
流 通 業	営業収益	23,400	23,600	△ 200	・駅ビジネス事業△2億円	21,965	1,434
	営業利益	800	1,200	△ 400	・駅ビジネス事業△2億円 ・SC経営△2億円	1,144	△ 344

‘なんかいいね’があふれてる

3. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度			主な増減要因	2021年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
レジャー・ サービス業	営業収益	39,700	41,700	△ 2,000	・ビル管理メンテナンス業△8億円 ビルメンテナンス収入の減 ・その他△9億円 旅行業△5億円	38,241	1,458
	営業利益	2,800	2,400	400	・旅行業+2億円	3,834	△ 1,034
建設業	営業収益	47,700	47,800	△ 100	完成工事高の減	38,121	9,578
	営業利益	2,100	2,100	—		1,959	140
その他の 事業	営業収益	2,900	2,600	300		2,653	246
	営業利益	100	100	—		176	△ 76
調整額	営業収益	△ 27,800	△ 28,400	—		△ 28,159	—
	営業利益	△ 100	△ 100	—		△ 120	—
合計	営業収益	227,300	227,100	200		201,793	25,506
	営業利益	17,000	16,300	700		12,190	4,809

‘なんかいいね’があふれてる

3. セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額			修正予想額 主な内訳	EBITDA ※1		
	2022年度 修正予想 (A)	2022年度 期初予想 (B)	増減額 (A-B)		2022年度 修正予想 (A)	2022年度 期初予想 (B)	増減額 (A-B)
運 輸 業	19,000	21,100	△ 2,100	<収益拡大投資 161億円>	15,600	15,600	—
不 動 産 業	19,300	21,800	△ 2,500	・物流施設高度化 76億円 大阪府食品流通センター E棟建設関連工事他	19,000	18,800	200
流 通 業	2,800	3,300	△ 500	・なんばエリア周辺開発 71億円 <安全・更新投資 232億円>	4,800	5,200	△ 400
レジャー・ サービス業	2,700	2,500	200	・鉄道関連工事 123億円 車両新造、高架橋補強等	4,100	3,800	300
建 設 業	100	100	—	・不動産および 流通施設工事 52億円	2,200	2,200	—
その他の事業	0	0	—	<未来探索投資 46億円>	100	100	—
調 整 額	△ 1,100	△ 1,100	—	・eスポーツ事業 8億円	※2 △ 100	※2 △ 300	—
合 計	42,800	47,700	△ 4,900		45,700	45,400	300

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

3. 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線		2022年度 修正予想	対前期 増減率	2022年度 期初予想	対前期 増減率	2021年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	27,162	32.3%	27,463	33.7%	20,538	10.8%
	定期	19,699	6.5%	20,103	8.7%	18,495	△ 0.3%
	合計	46,861	20.1%	47,566	21.9%	39,033	5.2%
輸送人員	定期外	82,201	24.6%	84,391	27.9%	65,964	8.7%
	定期	126,515	8.2%	126,855	8.5%	116,887	△ 0.5%
	合計	208,716	14.1%	211,246	15.5%	182,851	2.6%

(単位:百万円・千人)

空港線		2022年度 修正予想	対前期 増減率	2022年度 期初予想	対前期 増減率	2021年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	4,527	105.4%	3,880	76.1%	2,203	30.7%
	定期	1,018	30.5%	1,162	49.0%	780	△ 6.9%
	合計	5,545	85.8%	5,043	69.0%	2,984	18.2%
輸送人員	定期外	6,377	99.7%	5,516	72.7%	3,194	24.1%
	定期	3,445	30.9%	3,909	48.6%	2,631	2.4%
	合計	9,822	68.6%	9,425	61.8%	5,825	13.2%

‘なんかいいね’があふれてる